

1 オープニング画面

1-1 メニューの内容

AT-D39SⅢデータ入力ソフト（以下、「本ソフト」と記します）を起動したときに、最初に表示される画面です。各種操作のプラットフォームになります。

The screenshot shows the main menu of the AT-D39SⅢ data input software. The interface is titled 'AT-D39SⅢデータ入力ソフト' and includes a 'スケジュール' (Schedule) section with options for '新規作成' (New creation), 'ファイルの編集' (File editing), and 'カードの編集' (Card editing). There are also buttons for 'メッセージの編集' (Message editing), 'カードのコピー/初期化' (Card copy/initialization), '操作説明' (Operation manual), and '終了' (End). At the bottom, there are buttons for '音声合成' (Voice synthesis), '詳細設定/辞書/文書一覧' (Detailed settings/dictionary/document list), '読込' (Load), and '保存' (Save).

スケジュールを新しく作ります。
⇒ 2 新規作成

パソコンに保存してあるスケジュールを読んで編集します。
⇒ 6 パソコンに保存したデータの編集

カードに保存してあるスケジュールを読んで編集します。
⇒ 7 フラッシュメモリーカードのスケジュールを編集

メッセージを作成してパソコンなどに保存します。
また、作成したメッセージをパソコンからフラッシュメモリーカードに読み書きします。
⇒ 8 メッセージの編集

フラッシュメモリーカードのコピーと初期化をします。
⇒ 9 カードのコピーと初期化

本ソフトを終了します。

操作説明 (PDF) が保存されているフォルダが表示されます。

【読込】ボタン
メッセージを音声合成により作成したときの各種設定情報（音声合成詳細設定、辞書登録、文章一覧）を、パソコンのハードディスクやUSBメモリーなどから読み込むときクリックします。

【保存】ボタン
メッセージを音声合成により作成したときの各種設定情報（音声合成詳細設定、辞書登録、文章一覧）を、パソコンのハードディスクやUSBメモリーなどに保存するときクリックします。

＜こんなことができます＞

● タイマーを使う

AT-D39SⅢ（以下、「本装置」と記します）でプログラムタイマーを使うためのスケジュールを作成します。作成したスケジュールは、フラッシュメモリーカード（以下、「フラッシュメモリーカード」または「カード」と記します）に書き込みます。書き込んだフラッシュメモリーカードを本装置に装着し、[タイマー]ボタンを押すとプログラムタイマーを使う準備が完了します。この状態で、[応答]ボタンを押すと本装置をタイマーで運用することができます。応答の入り/切り、メッセージの切り替えがすべて自動で行われます。

スケジュールには、「曜日」、「祝日」、「特定日」の3種類があります。優先度は「特定日」が最も高く、以下「祝日」、「曜日」の順です。

＜プログラムタイマーの有効期間について＞

登録したプログラムタイマーの有効期間は、登録した年を含め最大10年です。

（例1）2018/1/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2027/12/31（有効期間：10年）

（例2）2018/10/1に登録した場合 ⇒ 有効期限：2027/12/31（有効期間：9年と92日）

そのため、有効期間内にプログラムタイマーを再登録してください。

● スケジュールをパソコンに保存する

作成したスケジュールをパソコンに保存しておくことができます。保存したスケジュールを読んで、そのまま、または編集してフラッシュメモリーカードに書き込むことができます。

● メッセージをパソコンに保存する

音声合成機能によりテキストファイルなどからコピーペーストした文章や、キーボードから入力した文章を音声メッセージに変換して、作成された各種メッセージをパソコンなどに保存することができます。また、パソコンに保存してあるメッセージをフラッシュメモリーカードに書き込むことができます。

● カードのコピー

フラッシュメモリーカードの内容を読み込んで、ほかのカードに書き込むことができます。複数の同一内容のカードを、簡単に作ることができます。

● カードの種類

対応しているフラッシュメモリーカードは次のとおりです。

型名	録音容量	備考
D F C - 2 M	2 分	販売終了
D F C - 1 6 M	1 6 分	販売終了
D F C - 3 0 M	3 0 分	

● 当社の従来製品「AT-D39S データ入力ソフト」との互換性

本ソフトと当社の従来製品「AT-D39S データ入力ソフト」（以下、「従来ソフト」と記します）との互換性は次のとおりです。

- ・本ソフトで作成したスケジュール ⇒ 従来ソフトで使用できます。
- ・本ソフトで作成したメッセージ ⇒ 従来ソフトでは使用できません。
- ・本ソフトで初期化したカード ⇒ 従来ソフトで使用できます。

2 新規作成

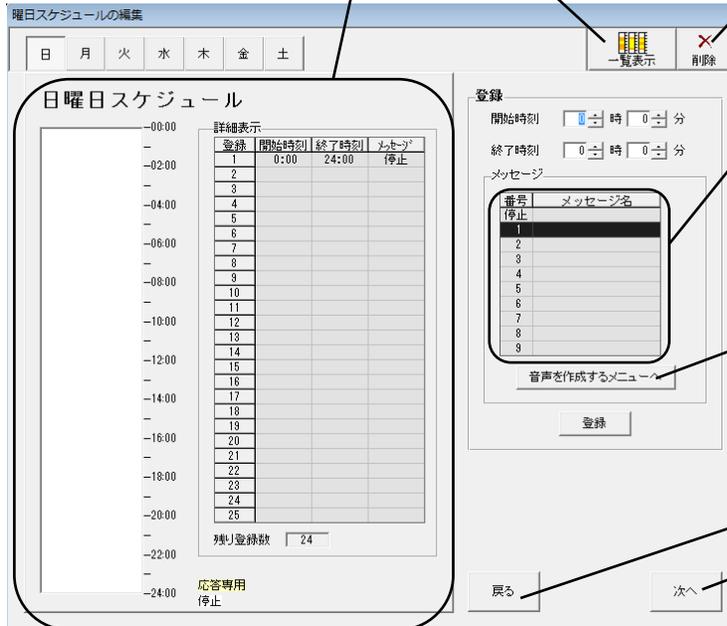
2-1 全体の流れ

作成したスケジュールの一覧を表示し、コピー・貼り付けをすることができます。
「一覧表示とコピー貼り付け」をご覧ください。

⇒ [3-2 一覧表示とコピー貼り付け](#)

作成したスケジュールの詳細が表示されます。

表示しているスケジュールを削除します。
「スケジュールの編集・削除」をご覧ください。



PC情報の音声フォルダ配下に格納されているメッセージ名が表示されます。
PC情報については、「PC情報」をご覧ください。

⇒ [8-1 メッセージ編集の概要](#)

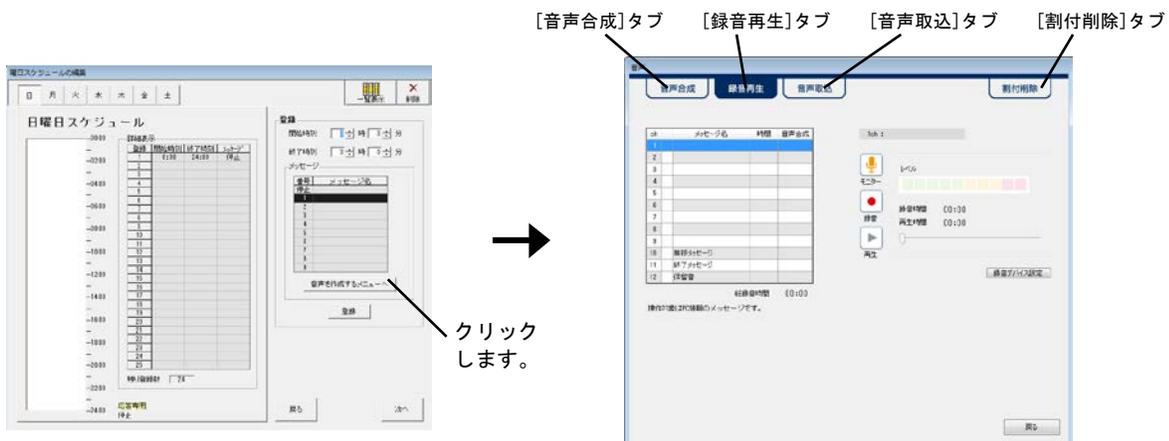
クリックすると、「音声」画面が表示されます。

一つ前の作業に戻ります。

次の作業に進みます。

＜メッセージの作成＞

スケジュールに従って流すメッセージが作成できます。
メッセージの作成方法としては、「音声合成・録音再生・音声取込」の3種類があります。



●音声合成

キーボードから入力した文章をメッセージに変換します。

>>> [移動](#) >>> [8-2-1 音声合成](#)

●音声録音

マイクから音声を録音します。

>>> [移動](#) >>> [8-2-2 録音再生](#)

●音声取込

パソコンや USB メモリから wave ファイルを読み込みます。

>>> [移動](#) >>> [8-2-3 音声取込](#)

< スケジュールの種類 >

●曜日スケジュール

スケジュールを曜日ごと（日曜日、月曜日、火曜日・・・）に作ります。運用の基本になります。

●祝日スケジュール

祝日に本装置を専用のスケジュールで運用するときは、祝日スケジュールを作ります。
祝日スケジュールを使わないときは、「曜日」のスケジュールがそのまま適用されます。

●特定日スケジュール

事業所独自の休日などがあり、専用のスケジュールを作るときは特定日スケジュールを利用します。
年末年始や夏休みのスケジュールなどを作るときに使用します。

< 簡単に作るために >

作成したスケジュールをコピーすることができます。
たとえば、月曜日と火曜日が同じであれば、まず月曜日のスケジュールを作ります。
これを、火曜日に簡単にコピーすることができます。

>>> [移動](#) >>> [3-2 一覧表示とコピー貼り付け](#)

2-2 曜日スケジュールを作る

日曜日から土曜日までのスケジュールを作ります。

メニュー画面の[新規作成]ボタンをクリックします。



ステータスバーの「曜日スケジュール」が反転していることを確認してください。反転していないときは、クリックします。

- ①. 最初に曜日を選択します。この例では、「月」をクリックし月曜日を選びます。
- ②. 登録したいメッセージ番号をクリックし選択します。
- ③. マウスポインタを画面左側のグラフエリアに移動すると形が時計の形に変わり時刻が表示されます。時刻は24時間制で表示されます。
- ④. 目的の開始時刻にポインタを合わせ、終了時刻までドラッグします。10分単位で登録できます。

① まず、曜日を選択しておきます。この例は、月曜日です。ボタンの色で、スケジュールの登録の有無がわかります。

日 登録なし 水 登録あり

② 流すメッセージを選びます。この例では、メッセージ番号1の早朝用が選択されています。

メッセージ番号の色

- 1 スケジュールに使用されている。
- 5 使われていない

スケジュールで使用するメッセージは、本装置本体で作成や修正はできません。本ソフトを使用してカードに書き込んで使用します。

③ マウスポインタをこのエリアへ持ってくると形が変わり、時刻が表示されます。

④

- ・ 開始時刻に合わせます。その位置からドラッグし、終了時刻に合わせます。
- ・ この例では、午前8時が終了時刻になっています。
- ・ 10分単位で登録できます。

⑤. 時刻を1分単位で登録する場合などは、直接時刻を入力して修正します。

>>> [移動](#) >>> [3-1 スケジュールの編集・削除](#)

⑥. [登録]をクリックすると、1ステップ完了です。

左側のグラフエリアがクリーム色になり、メッセージ番号が入ります。「詳細表示」エリアに開始時刻、終了時刻、メッセージ番号が入ります。

登録	開始時刻	終了時刻	メッセージ
1	0:00	7:00	1
2	7:00	24:00	停止
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

番号	メッセージ名
1	早朝用
2	夏休み
3	業務終了
4	土曜、日曜
5	祝日
6	
7	
8	
9	

ここに1ステップ登録されました。

詳細が表示されます。
(開始時刻、終了時刻、メッセージ番号)

残りの登録できる数が表示されます。

⑦. 手順②から⑥を繰り返します。

1つの曜日が完了したら、手順①にもどり、別の曜日を登録します。

作成が終わったら次のいずれかを選びます：

- [次へ]ボタンをクリックすると、祝日スケジュールを作る画面が開きます。
- ステータスバーで、次の作業を選択します。



登録した内容を簡単に編集することができます。

>>> [移動](#) >>> [3-1 スケジュールの編集・削除](#)

作成済みの曜日をコピーすることができます。

>>> [移動](#) >>> [3-2 一覧表示とコピー貼り付け](#)

2-3 祝日スケジュールを作る

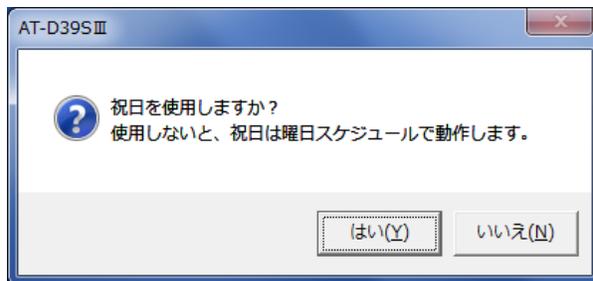
祝日用のスケジュールを作ります。 祝日スケジュールを使わないときは、祝日には「曜日」のスケジュールがそのまま実施されます。

「曜日スケジュールの編集」画面の[次へ]ボタンをクリックします。

または、メニュー画面の[新規作成]をクリックします。続いて、ステータスバーの「祝日スケジュール」をクリックします。



祝日スケジュールを使うかどうかの確認画面が開きます。祝日を使用することになっていると、この画面は表示されません。



[はい]をクリックします。祝日スケジュールの編集画面が開きます。

[いいえ]をクリックすると、祝日スケジュールは使わないことになり、祝日も通常の曜日スケジュールで運用されます。

祝日が増えたり、日付が変更になったとき >>> 移動 >>> [3-3 祝日の編集](#)

チェックをはずすと、祝日スケジュールは使わないことになります。

振替休日も祝日スケジュールを使うときは、チェックを付けます。祝日スケジュールを使わないとき（チェックを付けないとき）には、振替休日は曜日スケジュールで運用されます。

スケジュールの作り方は、「曜日スケジュール」と同じです。

>>> [移動](#) >>> [2-2 曜日スケジュールを作る](#)

作業が終わったら次のいずれかを選びます：

[次へ]ボタンをクリックすると「特定日スケジュールの登録」画面になります。

[戻る]ボタンをクリックすると「曜日スケジュールの編集」画面になります。

ステータスバーで、次の作業を選択します。



2-4 特定日スケジュールを作る

事業所独自の休日などの、年月日を指定した、通常の曜日スケジュールとは異なった運用をするときに利用します。

「祝日スケジュールの編集」画面の[次へ]ボタンをクリックします。

または、ステータスバーの「特定日スケジュール」をクリックします。



「特定日スケジュールの登録」画面が開きます。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

システムの組み合わせにより、ごくたまに画面が反転表示になることがあります。一度ほかの画面を表示し、戻ってください。表示は、正常に戻ります。

< 手順 >

1. 最初にスケジュールの内容を作ります。「A」から「L」の12種類作ることができます。

>>>移動>>> [2-4-1 特定日スケジュールの編集](#)

2. 作ったスケジュールを希望の日に登録します。

< 特定日スケジュールを登録する >

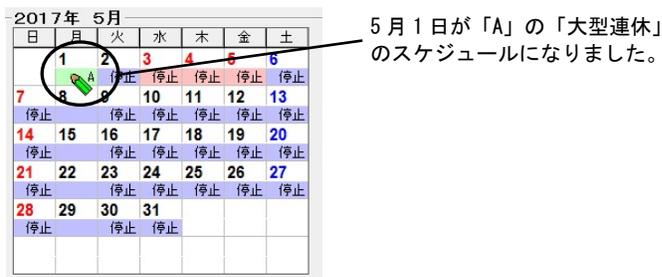
特定日スケジュールの編集画面で作ったスケジュールを、希望の日に登録します。

>>> [移動](#) >>> [2-4-1 特定日スケジュールの編集](#)

1. [登録]ボタンをクリックします。
2. 登録する特定日スケジュールを「A～L」または「停止」から選び、クリックします。



3. マウスをカレンダー部分に移動するとポインターが鉛筆形に変わります。目的の日（登録する日）をクリックします。



5月1日が特定日スケジュール「A」の「大型連休」のスケジュールになりました。

もし、特定日スケジュールの内容が未登録のときは、内容を登録するかどうかを確認する画面が開きます。



[はい]ボタンをクリックすると、内容を登録する画面が開きます。「特定日スケジュールの編集」をご参照ください。

>>> [移動](#) >>> [2-4-1 特定日スケジュールの編集](#)

4. 手順2から3を繰り返し、ほかの日を登録します。

現在までの登録内容を表示したいときは: >>> [移動](#) >>> [2-4-2 特定日スケジュールの登録表示](#)

複数の特定日を一括登録する方法：

手順3で、マウスの右ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。



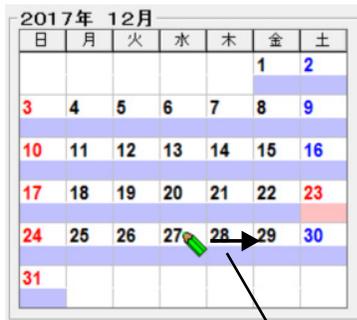
希望の項目をクリックすると、その内容に従って、特定日が登録されます。
たとえば、「毎年8月15日」をクリックすると、いま選択している特定日スケジュールが、今年から10年間のすべての8月15日に登録されます。

たとえば、「毎年8月15日」をクリックすると、現在の登録内容を表示し、登録をして良いかどうかの確認画面が開きます。

[はい]ボタンをクリックすると登録され、確認画面が閉じます。

連続した日を同一の特定日で一括登録する方法：

手順3で、特定日の開始日をドラッグして終了日でドロップします。



終了日までドラッグします。



27日から29日までが特定日Aで登録されました。

>>> 移動 >>> [2-4-3 特定日スケジュールの登録確認](#)

< 特定日の削除 >

1. [削除]ボタンをクリックします。



[削除]ボタンをクリック

2. マウスをカレンダー部分に移動すると、ポインターが消しゴム形に変わります。削除したい特定日をクリックします。



クリックすると、スケジュール「A」が登録されている5月1日が、通常の曜日スケジュールまたは祝日スケジュールに戻ります。

複数の特定日を一括削除する方法：

1. 手順2でマウスの右ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。



希望の項目をクリックすると、その内容に従って、特定日が登録されます。たとえば、「毎年5月1日」をクリックすると、すべての5月1日の特定日スケジュールが削除され、通常の曜日スケジュールまたは祝日スケジュールに戻ります。

2. たとえば、「毎年5月1日」をクリックすると、現在の登録内容を表示し、削除をして良いかどうかの確認画面が開きます。内容を確認し、[はい]ボタンをクリックすると表示された日はすべて通常の曜日スケジュールまたは祝日スケジュールに戻ります。

>>> 移動 >>> [2-4-4 特定日スケジュールの削除確認](#)

作業が終わったら次のいずれかを選びます。

[次へ]ボタンをクリックすると「カードに書込」画面になります。

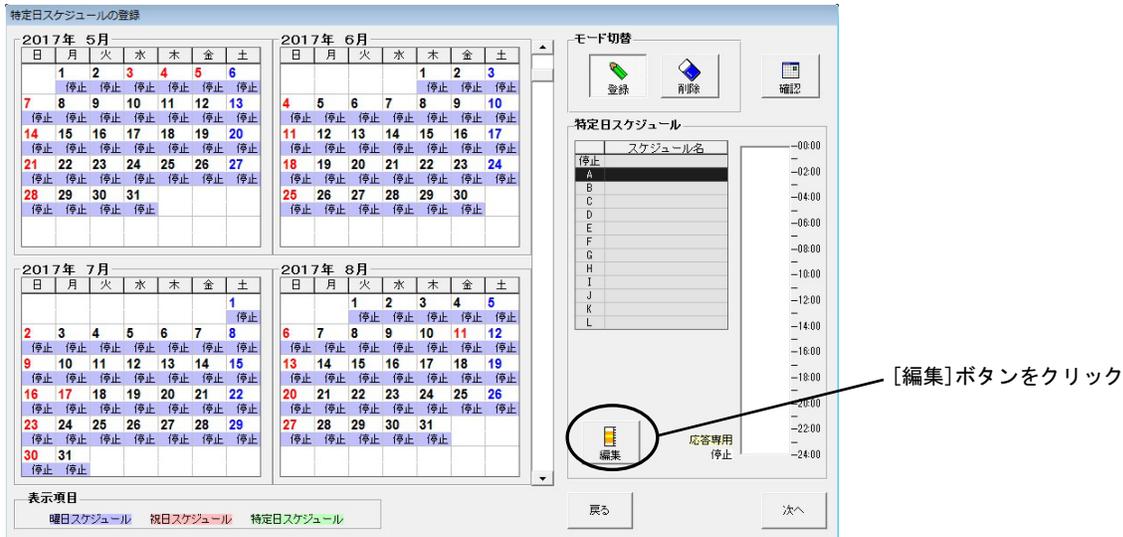
[戻る]ボタンをクリックすると「祝日スケジュールの編集」画面になります。

ステータスバーで、次の作業を選択します。



2-4-1 特定日スケジュールの編集

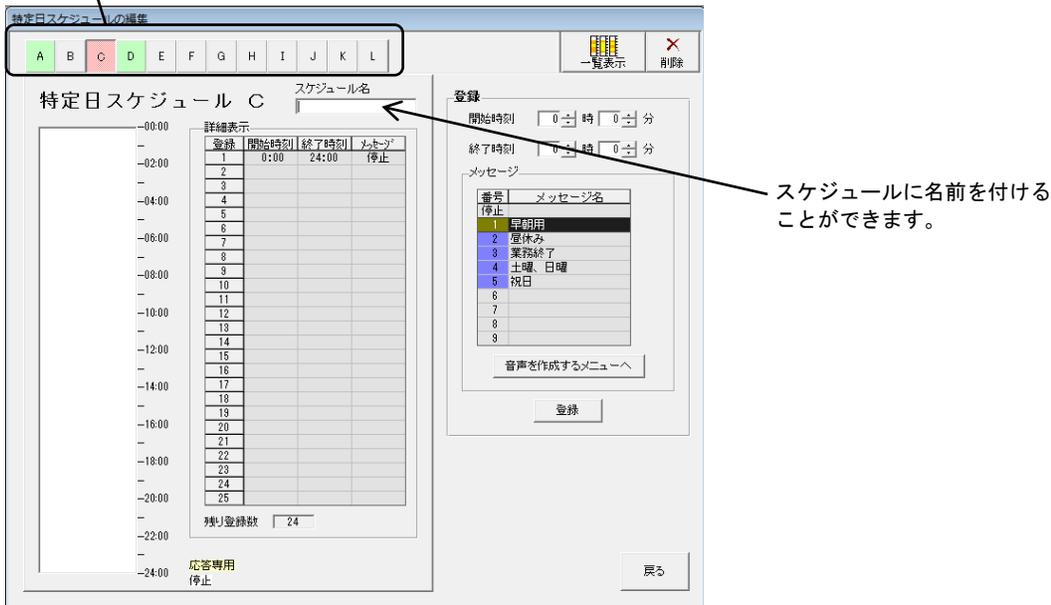
- 「特定日スケジュールの登録」画面上の[編集]ボタンをクリックすると、「特定日スケジュールの編集」画面が開きます。



ここをクリックして、内容を作るスケジュールを選択します。AからLの、12種類のスケジュールを作ることができます。

ボタンの色で使用状況がわかります。

- A 内容が登録されています。
- C 内容が登録されていません。
- E 未使用です。



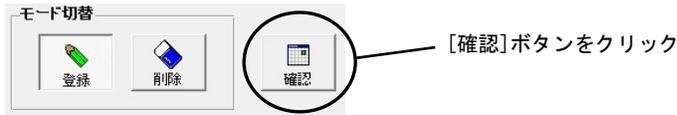
- [A]から[L]のボタンをクリックして内容を登録するスケジュールを選択します。
- 内容を作ります。作り方は、曜日スケジュールと同じです。スケジュールに名前を付けておくと便利です。

>>> 移動 >>> [2-2 曜日スケジュールを作る](#)

使用予定のすべてのスケジュールを作り終わったら、[戻る]ボタンをクリックします。「特定日スケジュールの登録」画面に戻ります。

2-4-2 特定日スケジュールの登録表示

「特定日スケジュールの登録」画面上の[確認]ボタンをクリックすると、登録されたすべての特定日が一覧表で表示されます。一覧表の内容は編集できません。

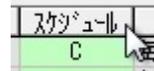


特定日スケジュールの確認

№	年	月	日	曜日	スケジュール	備考
1	2017	1	1	日	C	毎月1日
2	2017	2	1	水	C	毎月1日
3	2017	3	1	水	C	毎月1日
4	2017	4	1	土	C	毎月1日
5	2017	5	1	月	C	毎月1日
6	2017	5	2	火	A	毎年5月2日
7	2017	6	1	木	C	毎月1日
8	2017	7	1	土	C	毎月1日
9	2017	8	1	火	C	毎月1日
10	2017	9	1	金	C	毎月1日
11	2017	10	1	日	C	毎月1日
12	2017	11	1	水	C	毎月1日
13	2017	12	1	金	C	毎月1日
14	2017	12	31	日	C	毎年12月31日
15	2018	1	1	月	C	毎月1日
16	2018	2	1	木	C	毎月1日
17	2018	3	1	木	C	毎月1日
18	2018	4	1	日	C	毎月1日
19	2018	5	1	火	C	毎月1日
20	2018	5	2	水	A	毎年5月2日
21	2018	6	1	金	C	毎月1日
22	2018	7	1	日	C	毎月1日
23	2018	8	1	水	C	毎月1日
24	2018	9	1	土	C	毎月1日
25	2018	10	1	月	C	毎月1日
26	2018	11	1	木	C	毎月1日
27	2018	12	1	土	C	毎月1日
28	2018	12	31	月	C	毎年12月31日
29	2019	1	1	火	C	毎月1日
30	2019	2	1	金	C	毎月1日

※タイトル行をクリックすると、その項目で並び替えが出来ます。並び替えの解除

タイトル行をクリックすると、その項目でデータを並べ替えます。



上のように「スケジュール」をクリックすると、スケジュールを「A」から順番に並べ替えて表示します。

もう一度クリックすると、並び替えの順序を逆にします。この例の場合は「L」から逆順で表示します。

カレンダー部分において、日付を右クリックしたときに表示される、メニュー一覧の値が表示されます。

【2017年5月1日の例】

2017年 5月							2017年 6月				
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7					1
8	9	10	11	12	13	14	4	5	6	7	8
15	16	17	18	19	20	21	11	12	13	14	15
22	23	24	25	26	27	28	18	19	20	21	22
29	30						25	26	27	28	29

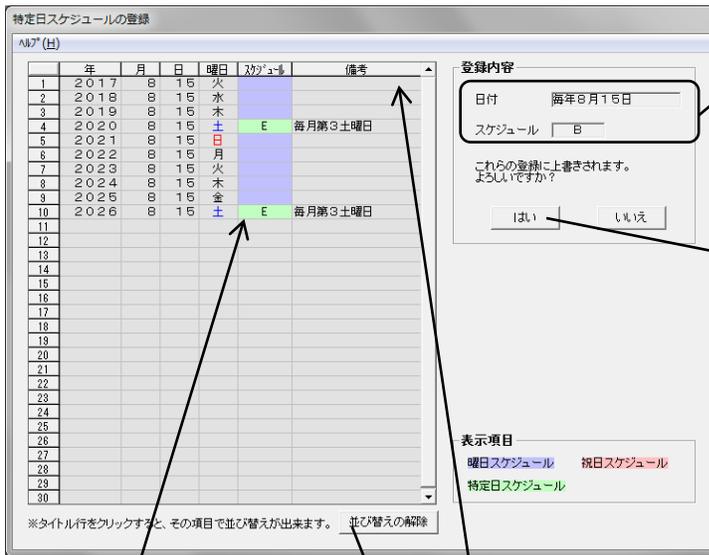
クリックすると、最初の並びに戻します。

「備考」欄はフラッシュメモリーカードには保存されません。一度、カードに保存したデータを読み込んだ場合、この欄は空白になります。

[戻る]ボタンをクリックすると、もとの画面に戻ります。

2-4-3 特定日スケジュールの登録確認

複数の特定日を一括で登録するときに、登録しようとしている日が現在どのような内容になっているかを表示します。内容を確認し、[はい]ボタンをクリックすると、表示している日はすべて特定日に変わります。

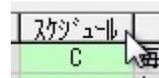


登録しようとしている内容を表示しています。ここでは「毎年8月15日」にスケジュール「B」を登録しようとしています。

[はい]ボタンをクリックすると、表示されているすべての日が、スケジュール「B」に書き換えられます。

- 通常の曜日スケジュールが登録されています。
- E 特定日スケジュールが登録されています。ここでは、2020年と2026年8月15日が第3土曜日あたり、毎月第3土曜日は「E」で運用するようにすでに登録があります。
- 祝日スケジュールが登録されています。

タイトル行をクリックすると、その項目でデータを並べ替えます。



左のように「スケジュール」をクリックすると、スケジュールの「A」から順に並べ替えて表示します。

クリックすると、最初の並び順に戻します。

「備考」欄はフラッシュメモリーカードには保存されません。一度、カードに保存したデータを読み込んだ場合、この欄は空白になります。

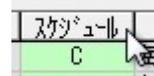
2-4-4 特定日スケジュールの削除確認

複数の特定日を一括で削除しようとしたときに表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンをクリックすると、表示された日のスケジュールは通常の曜日または祝日スケジュールに戻ります。



削除対象の特定日を表示します。
ここでは「毎年5月1日」です。

タイトル行をクリック
すると、その項目で
データを並び替えます。



上のように「スケジュール」を
クリックすると、スケジュール
を「A」から順に並び替えて表示
します。

もう一度クリックすると、並び
替えの順序を逆にします。この
列の場合は「L」から逆順で表示
します。

今後10年間の5月1日には上記10個の登録があります。

[はい]をクリックすると、表示された日は
すべて通常の曜日または祝日スケジュール
に戻ります。

「備考」欄はフラッシュメモリーカードには保存されません。一度、カードに保存したデータを読み込んだ場合、この欄は空白になります。

3 データの編集

3-1 スケジュールの編集・削除

< 時刻の変更 >

図は曜日スケジュールの「月曜日」ですが、ほかの曜日でも、また特定日スケジュールや祝日スケジュールでも操作は同じです。
登録2の開始時刻を0時20分から0時0分に変更してみます。

ここに数値を入れても同じように変更できます。
1分単位で変更する場合は、ここから変更します。

③ [登録]をクリックします。

② マウスポインタの形が変わります。時刻表示が「0:00」になるよう、上方へドラッグします。マウスでは10分単位で変更できます。

① 変更したい登録番号をクリックします。ここでは、登録2の開始時刻を0:20から0:00に変更します。

1. 変更したい登録番号（ここでは、「2」）をクリックします。登録番号の行が反転します。同時に左側のグラフエリアで、該当のステップが斜線で識別されます。
2. マウスを左側のグラフエリアへ移動します。該当のステップ（斜線で識別した部分）の上端へマウスを移動すると、ポインタが時刻訂正形になります。
3. 時刻が「0:00」になるよう、ドラッグしドロップします。
4. [登録]をクリックします。

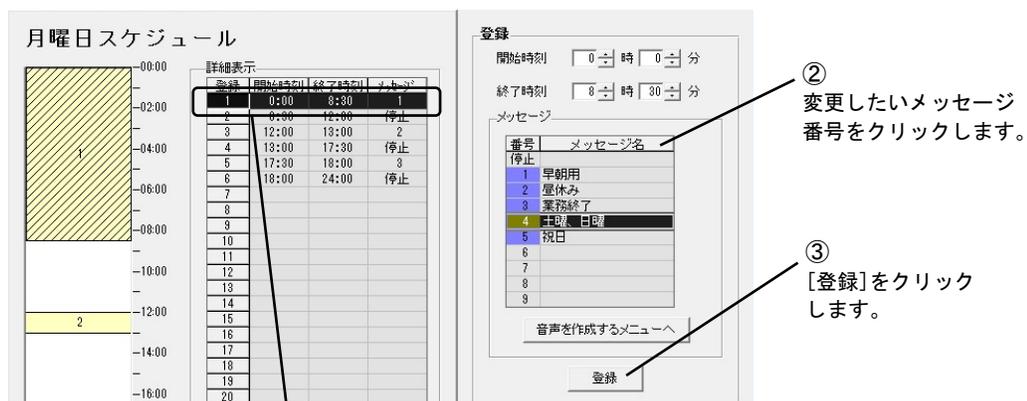
終了時刻の変更も同様に行えます。

手順2でマウスではなく、右側の「開始時刻」、「終了時刻」の欄にキーボードから直接数値を入れても同様に変更することができます。

マウスでの変更は「10分」刻みで、キーボードで数値を入れるときは「1分」刻みで変更することができます。

＜メッセージ番号の変更＞

図は曜日スケジュールの月曜日ですが、ほかの曜日でも、また特定日スケジュールや祝日スケジュールでも操作は同じです。



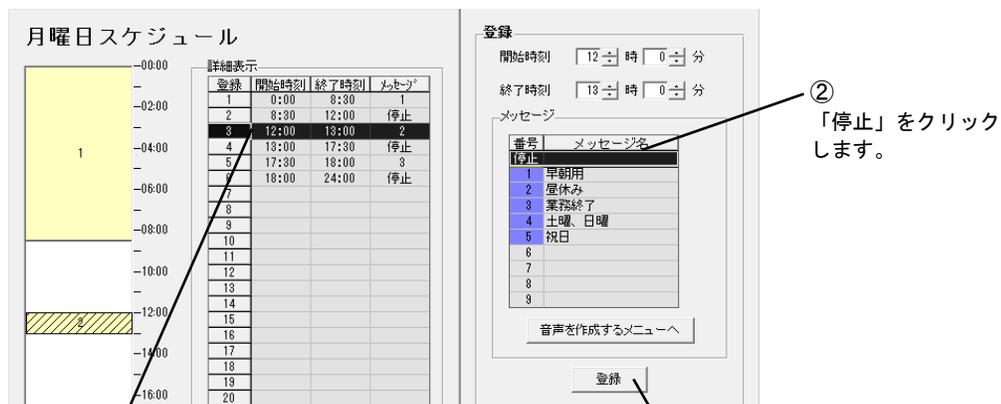
① 変更したい登録番号をクリックします。

② 変更したいメッセージ番号をクリックします。

③ [登録]をクリックします。

1. 変更したい登録番号をクリックします。
2. 変更したいメッセージ番号をクリックします。
3. [登録]をクリックします。

＜登録の削除(「停止」にする)＞



① 削除する登録番号を選択します。

② 「停止」をクリックします。

③ [登録]をクリックします。

1. 削除する登録番号を選択します。
2. メッセージの「停止」をクリックします。
3. [登録]ボタンをクリックします。

＜スケジュール単位で削除＞



月曜日のスケジュールを表示し[削除]をクリックすると、月曜日の内容がすべて削除されます。

1. 目的の曜日、特定日、祝日の内容を表示し、[X 削除]ボタンをクリックします。
2. 削除をして良いかどうかの確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
3. 該当の曜日、祝日または特定日に登録されたすべてのデータが削除されます。

3-2 一覧表示とコピー貼り付け

＜一覧表示＞

「スケジュールの編集」画面で、[一覧表示]ボタンをクリックします。

登録内容の一覧が表示されます。



登録内容の一覧が表示されます。

[戻る]ボタンをクリックすると、「スケジュールの編集」画面に戻ります。

＜ 内容のコピー ＞

曜日間、曜日ー特定日間、特定日間などで登録内容をコピーすることができます。

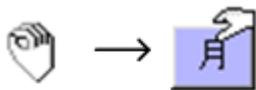
左クリックし、ドラッグします。

火曜日の位置で、ドロップします。

月曜日のスケジュールが火曜日にコピーされました。

特定日へコピーするときは、特定日を選択するボタンへドロップします。

1. コピー元の曜日、祝日、特定日の内容をドラッグします。ポインタの形が変わります。



ポインタの形が変わります。

2. コピー先の曜日、祝日、特定日へドロップします。特定日へコピーするときは、特定日を選択する「A」から「L」のボタンへ、ドロップします。
3. コピー先の曜日、祝日、特定日の内容が書き換わります。特定日へコピーしたときは、コピー先の特定日が表示されます。

3-3 祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変わったときに編集します。

「祝日スケジュールの編集」の画面で、[祝日の編集]ボタンをクリックします。



クリックします。

② 名称を入力します。

① 編集したい祝日をクリックします。
新たに追加するときは、空白行をクリックします。

③ クリックして、月を選びます。キーボードからの入力もできます。

④ 日付が固定されているときは、チェックをつけ日付を入力します。

⑤ 第x、○曜日の様に変動するときは、ここにチェックをつけ選択します。

⑥ 変更や登録を実施するときにクリックします。

⑦ 選択した祝日を削除するときにクリックします。

⑧ 編集を終了するときにクリックします。

編集内容を規定値としてパソコンに保存したり、保存内容を読み込みます。

③ クリックして、月を選びます。キーボードからの入力もできます。

④ 日付が固定されているときは、チェックをつけ日付を入力します。

⑤ 第x、○曜日の様に変動するときは、ここにチェックをつけ選択します。

⑥ 変更や登録を実施するときにクリックします。

⑦ 選択した祝日を削除するときにクリックします。

⑧ 編集を終了するときにクリックします。

※春分の日、秋分の日は年によって自動計算されますが実際の日にちと異なる場合があります。
※「国民の休日」とは、その前日及び翌日が祝日である日のことを言います。但し、その日が祝日のときを除きます。

＜ 祝日の内容を編集したり追加するとき ＞

祝日の追加や、日付が変わったときにこの手順で編集します。

手順： ① → ② → ③ → ④ または ⑤ → ⑥

＜ 祝日を削除するとき ＞

手順： ① → ⑦

＞ 注意 ＜

春分の日、秋分の日と国民の休日は特殊な形式で書き込んであります。一度削除すると元に戻すことができません。

＜ 既定値として保存 ＞

[既定値として保存] ボタンをクリックします。

編集内容をパソコンに保存します。次に新規作成をしたとき保存した内容がこの画面に表示されます。

＜ 既定値を読み込む ＞

[既定値を読み込む] ボタンをクリックします。

編集内容を、パソコンに保存してある既定値に戻すときにクリックします。

編集を終了して、[戻る] ボタンをクリックすると、「祝日スケジュールの編集」画面に戻ります。

4 スケジュールをフラッシュメモリーカードに書き込む

4-1 フラッシュメモリーカードに書き込む

作成したスケジュールをフラッシュメモリーカードに書き込みます。

特定日スケジュール登録画面の[次へ]ボタンをクリックします。

または、「新規作成」、「ファイルの編集」、「カードデータを編集」の作業を終え、ステータスバーの「カードに書込」をクリックします。



書き込みの画面が表示されます。カードライターアダプタ (CWA-200) のフラッシュメモリーカードスロットにフラッシュメモリーカードを挿入してください。使用できるカードは品名が「DFC」で始まるものです。

フラッシュメモリーカードスロット



【例：DFC-30M】

書き込むデータが更新された日が表示されています。

クリックすると、書き込むスケジュールの内容が確認できます。

チェック (✓) を付けると、カード名を書き込むことができます。この画面で、カード名を付けることができます。

チェック (✓) を付けると、メッセージ名を書き込むことができます。

スケジュール	登録
曜日スケジュール	あり
祝日スケジュール	あり
特定日スケジュール	あり

番号	メッセージ名
1	早朝用
2	昼休み
3	業務終了
4	土曜、日曜
5	特別休日用
6	夏季休暇
7	
8	
9	

スケジュール	登録
曜日スケジュール	あり
祝日スケジュール	あり
特定日スケジュール	あり

番号	メッセージ名	録音時間
1	早朝用	0:10
2	昼休み	0:08
3	業務終了	0:10
4	土曜、日曜	0:12
5	特別休日用	0:10
6	夏季休暇	0:25
7		0:00
8		0:00
9		0:00

「書込データ」エリア

「カード情報」エリア

クリックすると、カードに書き込みます。

左側の「書込データ」エリアに書き込もうとしているデータの概要が、右側の「カード情報」エリアに書き込み対象のカードに現在保存されているデータの内容が表示されます。書き込みを行うと、保存しているスケジュールなどのデータはすべて消去され新しいデータに書き替わります。ただし、この画面ではメッセージは書き替わりません。

「カード情報エリア」に表示される「録音時間」はおおよその時間です。本装置本体での表示と1秒程度相違が出る場合があります。

< カード名 >

カードに名前を付けることができます。複数のカードを使い運用する場合に名前を付けておくと便利です。

カードに書き込むときは、チェックボックスに「✓」を付けます。

< 確認ボタン >

クリックすると、登録したスケジュールの一覧表示の画面が開きます

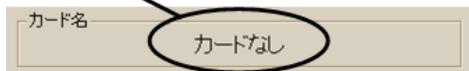
< メッセージ情報 >

メッセージに付けた名称を書き込むこともできます。書き込むときは、チェックボックスに「✓」を付けます。

[書込]ボタンをクリックするとフラッシュメモリーカードにデータが書き込まれます。

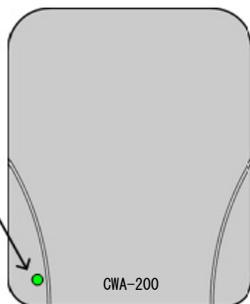
- カードが入っていないか、正しく挿入されていないときは、「カード名」欄の表示が次のようになります。

「カードなし」と表示されます。

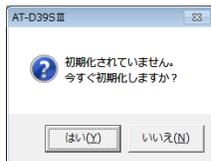


フラッシュメモリーカードが正しく装着されているときは、CWA-200 のモニターランプが点灯します。

フラッシュメモリーカードが正しく装着されていると、モニターランプが点灯します。



- カードが初期化されていないときは、初期化をするかどうかを確認する画面が開きます。

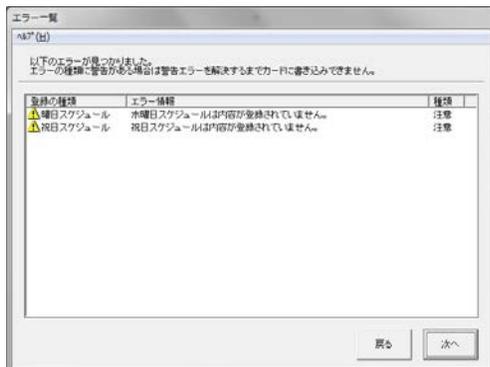


[はい]ボタンをクリックすると、初期化が始まります。 >>> [移動](#) >>> [9-1-2 初期化](#)

書き込み後に「書き込みが終了しました」のメッセージがでます。このメッセージ中にカードを抜き差しすると、「カード名」欄にカードなしと表示されることがあります。このときは、いったんカードを抜き、再度差し込んでください。

エラー一覧の画面が表示されたら >>> [移動](#) >>> [11-1 エラー処理](#)

[エラー一覧]例



5 スケジュールをパソコンに保存

5-1 パソコンに保存する

作成したスケジュールなどをパソコンに保存しておくことができます。保存されるデータは、①スケジュールデータ、②メッセージ名、③カード名の3種類です。

この画面では、メッセージの保存はできません。メッセージは「メッセージの編集」画面の「メッセージの保存」で保存します。

>>>移動>>> [8-3 メッセージを書き込む](#)

「カードに書込」の画面で[次へ]ボタンをクリックします。

または、ステータスバーの「ファイルに保存」をクリックします。



ファイル名を入れる画面が表示されます。

- 新たに登録するとき：

ファイル名を入力し[保存]ボタンをクリックします。

- 既存のファイルを読み込み・編集をして上書き保存するとき：

何も変更しないで[保存]ボタンをクリックします。

- 既存のファイルを読み込み・編集をして、名前を変え別ファイルで保存するとき：

ファイル名欄に別の名前を入力し[保存]ボタンをクリックします。



スケジュールがパソコンに保存されました。保存したスケジュールは、「ファイルの編集」で読み込むことができ、編集したり、フラッシュメモリーカードに書き込むことができます。

>>> 移動 >>> [6-1 ファイルを読んで編集する](#)

保存後、メニュー画面に戻ります。

6 パソコンに保存したデータの編集

6-1 ファイルを読んで編集する

＜メッセージ以外のデータ＞

パソコンに保存したスケジュールを読み込み、編集したりフラッシュメモリーカードへ書き込むことができます。この操作で読み込むのは、①スケジュールデータ、②メッセージ名、③カード名の3種類です。

メニュー画面で[ファイルの編集]ボタンをクリックします。



編集するファイルを選択し、[開く]をクリックします。

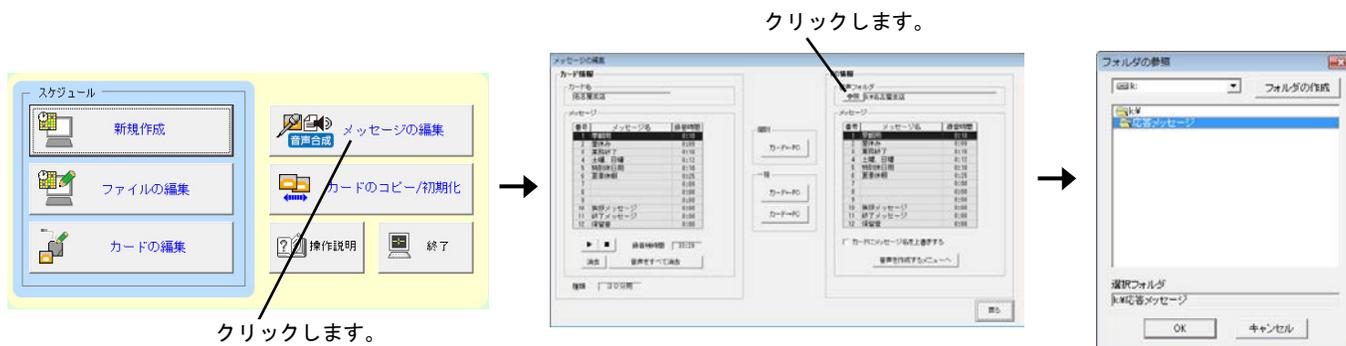
曜日スケジュールの編集画面が開きます。操作は、新規作成と同一です。

- >>> 移動 >>> [2-2 曜日スケジュールを作る](#)
- >>> 移動 >>> [2-3 祝日スケジュールを作る](#)
- >>> 移動 >>> [2-4 特定日スケジュールを作る](#)

＜メッセージデータ＞

パソコンに保存したメッセージは、メニュー画面で「メッセージの編集」で読み込み、編集します。

PC情報の[参照]ボタンをクリックして、保存されているメッセージの格納フォルダを指定して[OK]ボタンをクリックします。格納フォルダは、「Cドライブ」直下や「Program Files」などのシステムフォルダ以外で、必ずフルコントロール（読み書き、削除等）ができるフォルダを指定してください。



[音声を作成するメニューへ]ボタンをクリックすると、音声画面が開きます。操作は、メッセージの編集と同一です。



- >>> 移動 >>> [8-2 メッセージを作成する](#)

7 フラッシュメモリーカードのスケジュールを編集

7-1 フラッシュメモリーカードのスケジュールを読んで編集する

フラッシュメモリーカードに保存したスケジュールを読み込み編集します。この操作で読み込むのは、①スケジュールデータ、②メッセージ名、③カード名の3種類です。メッセージを読むことはできません。メッセージは、「メッセージの編集」で読み込み、編集します。

メニュー画面の[カードの編集]ボタンをクリックします。カードライトアダプタ (CWA-200) のフラッシュメモリーカードスロットにフラッシュメモリーカードを挿入します。

フラッシュメモリーカードスロット



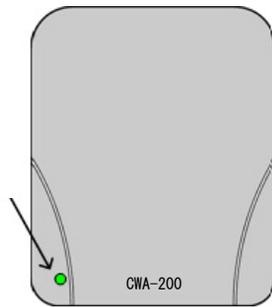
カードが入っていないか、入れ方が不完全なときは、「カード名」欄の表示が次のようになります。

「カードなし」と表示されます。

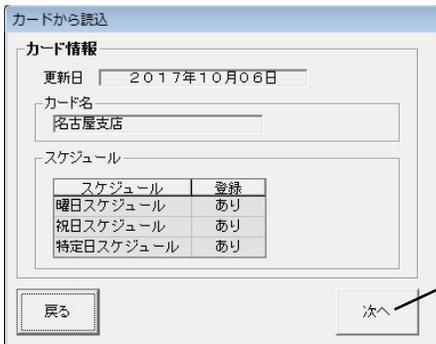


フラッシュメモリーカードが正しく装着されているときは、カードライトアダプタ (CWA-200) のモニターランプが点灯します。

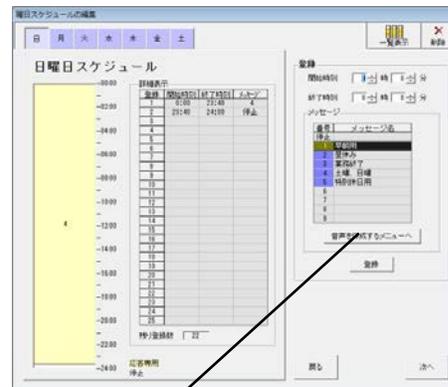
フラッシュメモリーカードが正しく装着されていると、モニターランプが点灯します。



カードに保存してあるデータの概要を表示する画面が開きます。



クリック
します。



【ご注意】

クリックして表示される音声画面において、メッセージ名はカードに保存されているメッセージ名となります。音源ファイルは、カードに保存されている音源ファイルではなく、PC情報の音声フォルダ配下に格納されている音源ファイルになります。PC情報については、「PC情報」をご覧ください。

⇒ [8-1 メッセージ編集の概要](#)

[次へ]ボタンをクリックするとフラッシュメモリーカードからスケジュールが読み込まれ「曜日スケジュール」の画面になります。操作は、新規作成と同一です。

>>> [移動](#) >>> [2-2 曜日スケジュールを作る](#)

>>> [移動](#) >>> [2-3 祝日スケジュールを作る](#)

>>> [移動](#) >>> [2-4 特定日スケジュールを作る](#)

8 メッセージの編集

8-1 メッセージ編集の概要

メニュー画面の[メッセージの編集]ボタンをクリックします。フラッシュメモリーカードを挿入しておいてください。

カード情報

カードに保存してあるメッセージの情報が表示されています。

メッセージを個別にカードに書き込みます。

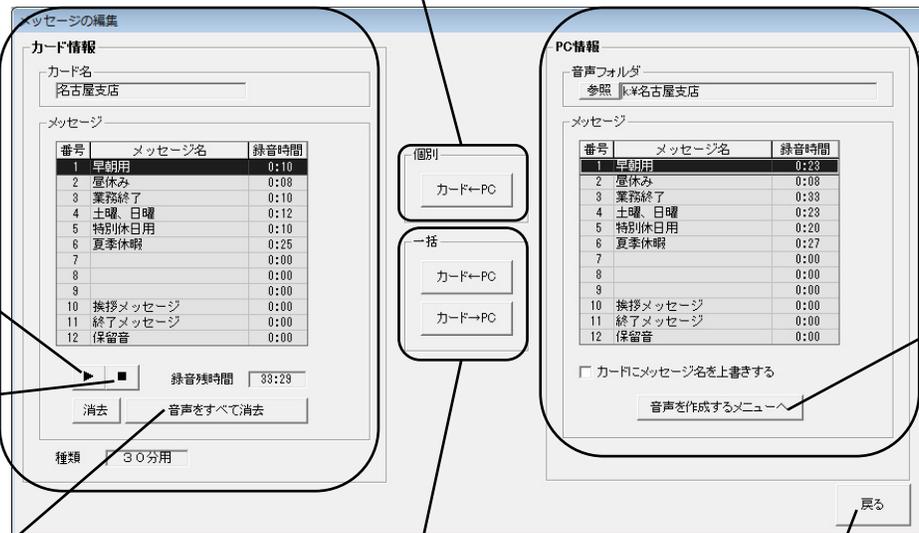
PC情報

パソコンなどに保存してあるメッセージの情報が表示されています。

選択したカード上のメッセージを再生します。

再生を中止します。

カードのメッセージを一括して消去します。



メッセージを一括してカードに書き込み、またはカードから読み込みます。

クリックすると、メニュー画面に戻ります。

音声合成機能によるメッセージを作成します。

メッセージの作成、書き込み、確認、読み込みをします。

表示されている「録音時間」や「録音残時間」はおおよその時間です。本装置本体での表示と1秒程度相違が出る場合があります。

< メッセージを作成する >

音声合成・録音再生・音声取込によりメッセージを作成します。

>>> [移動 >>> 8-2 メッセージを作成する](#)

< メッセージを書き込む >

作成したメッセージをフラッシュメモリーカードに書き込みます。

>>> [移動 >>> 8-3 メッセージを書き込む](#)

< メッセージを確認する >

フラッシュメモリーカード上のメッセージの再生や消去ができます。

>>> [移動 >>> 8-4 メッセージを確認する](#)

< メッセージを読み込む >

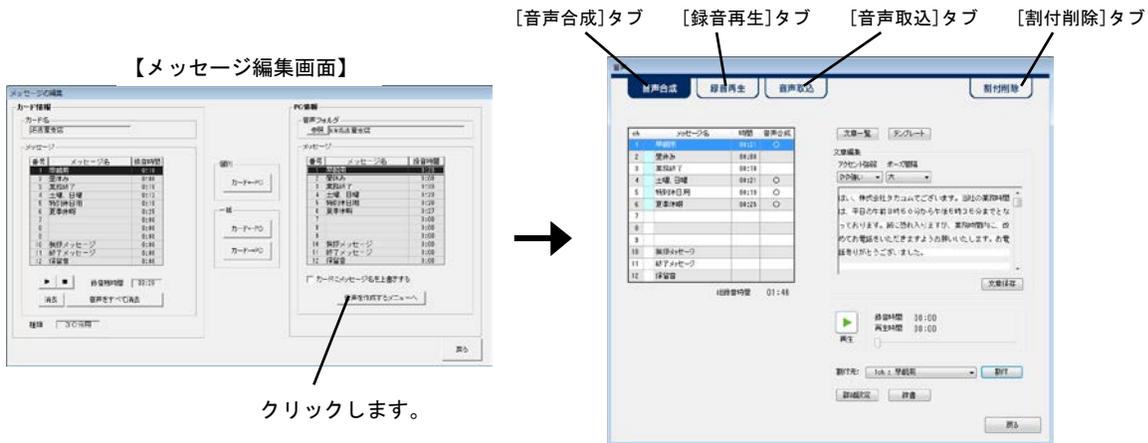
フラッシュメモリーカード上のメッセージを制御用パソコンや外部メモリなどに保存します。

>>> [移動 >>> 8-5 メッセージを読み込む](#)

[戻る]ボタンをクリックすると、メニュー画面に戻ります。

8-2 メッセージを作成する

メッセージの作成方法としては、キーボードから入力した文章をメッセージに変換する音声合成、マイクから音声を録音する音声録音、パソコンやUSBメモリから wave ファイルを読み込むことによる音声取込があります。



8-2-1 音声合成

① 「音声合成」タブをクリックします。

② 編集対象のチャンネルを選択します。



1. 「音声合成」タブをクリックします。

2. 編集対象のチャンネルを選択した後で、メッセージ名入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

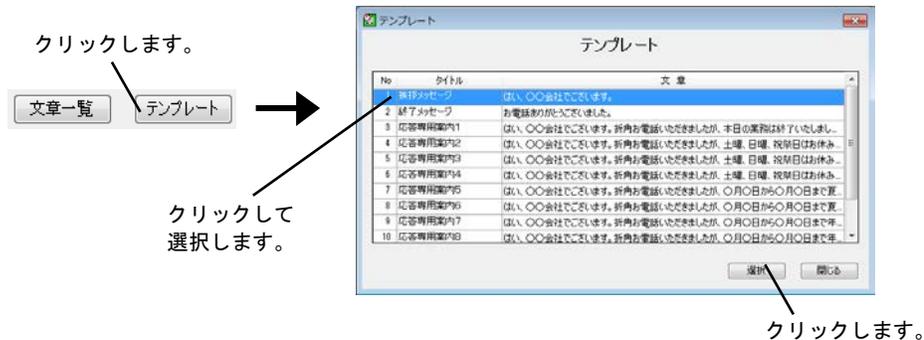
・メッセージ名は半角文字で最大 20 文字、全角文字で最大 10 文字まで入力できます。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	早朝用	00:21	○
2	屋休み	00:08	
3	業務終了	00:10	

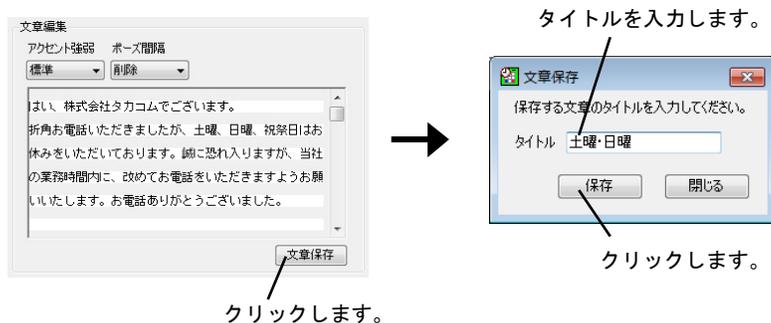
クリックしてメッセージ名を入力します。

3. メッセージを作成します。

- ・テキストファイルからのコピーペーストができます。このとき半角文字は全角文字に変換されます。
- ・特殊文字を除く全角文字で最大 2500 文字まで入力できます。
- ・割り付けられている音声の文章や、保存した文章から編集できます。
- ・[テンプレート] ボタンをクリックすると、文章例が表示されるため、該当の文章例を選択した後に、内容をアレンジすることができます



- ・編集された文章を保持しておくことができます。[文章保存] ボタンをクリックして表示される文書保存画面で、タイトルを入力してください。



また、保存された文章は、[文章一覧]ボタンをクリックして表示される一覧画面から確認できます。



4. メッセージを再生、割付します。

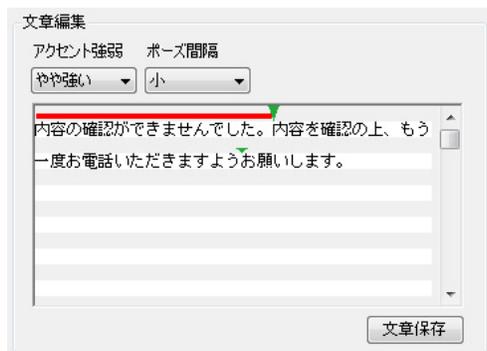
- ・アクセントの強弱や文字列の間のポーズ時間の調節をする場合は、[＜アクセント強弱やポーズ間隔の調節＞](#)を参照してください。
- ※ 作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生と異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
- ※ [割付]ボタンをクリックしないで操作タブで画面を切り替えたり、[戻る]ボタンをクリックした場合などは、合成されたメッセージは破棄されます。

< アクセント強弱やポーズ間隔の調節 >

- ・アクセント強弱は5段階で調節できます。
- ・ポーズ間隔は3段階で調節できます。

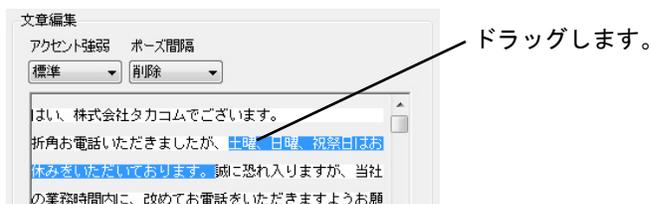
※ 作成したメッセージは必ず再生して確認してください。このとき音声合成機能の仕様により、意図した再生にならないことがあります、あらかじめご了承ください。

【表示例】

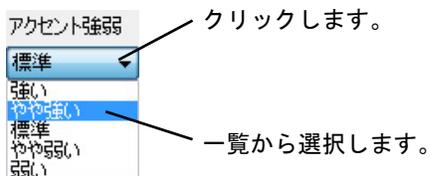


● アクセント強弱のつけかた

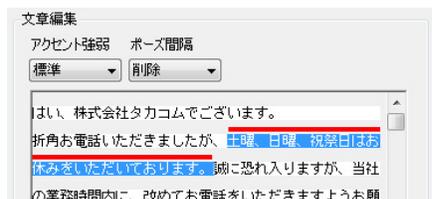
1. アクセントの強弱をつけたい文字列をドラッグします。



2. アクセント強弱の[▼]ボタンをクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。



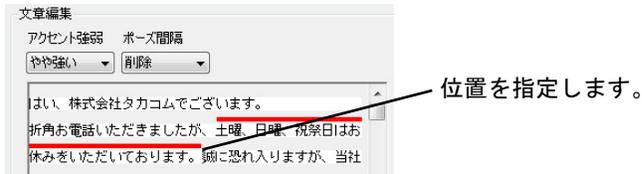
- ・強弱に応じて文字列の上に赤いバーが表示されます。



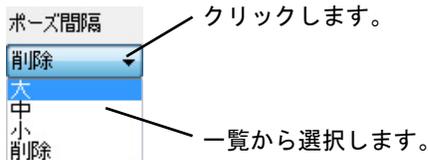
※ 熟語にアクセントを付けた場合などで、意図した発言にならない場合は、単語を辞書登録して読みにアクセントを付けてください。辞書登録については、< [辞書登録](#) >を参照してください。

● ポーズ間隔のつけかた

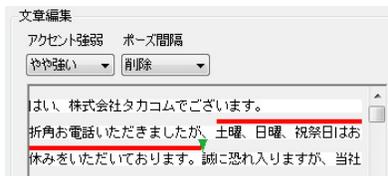
1. 空白時間を挿入したい箇所をマウスで指定します。



2. ポーズ間隔の[▼]ボタンをクリックして表示される一覧から、設定項目を選択します。

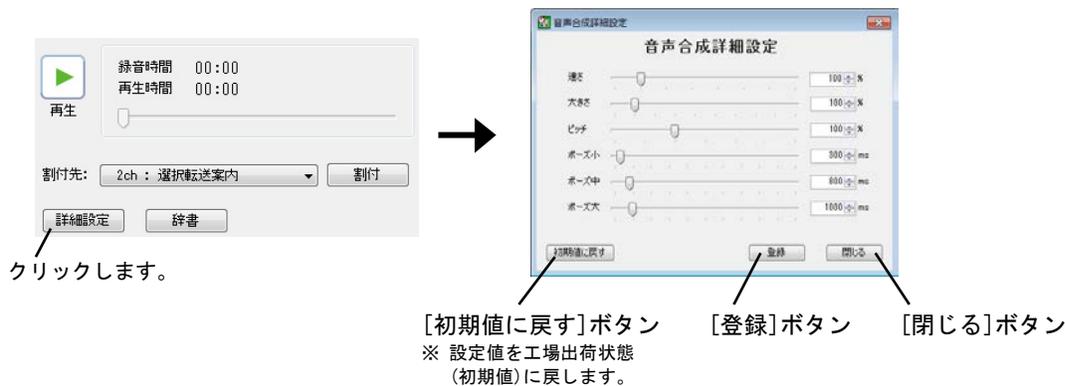


- ・間隔に応じて指定位置に緑の逆三角形が表示されます。



< 音声合成詳細設定 >

アクセント強弱やポーズ間隔の他に、文章を読み上げる速度や声の大きさなど、各種の設定項目に詳細な設定ができます。



No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	速さ	文章を読むスピード	50 ~ 400%	100%
2	大きさ	声の大きさ	50 ~ 500%	100%
3	ピッチ	声の高さ	50 ~ 200%	100%
4	ポーズ小	ポーズ小を選択した場合の間隔	10 ~ 1000ms	300ms
5	ポーズ中	ポーズ中を選択した場合の間隔	10 ~ 1000ms	800ms
6	ポーズ大	ポーズ大を選択した場合の間隔	10 ~ 1000ms	1000ms

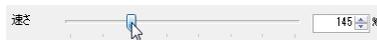
1. 設定値を調整します。

【数値入力する場合】



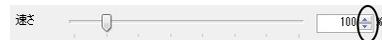
数値を入力します。

【スライダーで移動する場合】



ドラッグして調節します。

【アップダウンリストで調節する場合】



クリックして調節します。

2. [登録]ボタンをクリックします。
3. [閉じる]ボタンをクリックします。

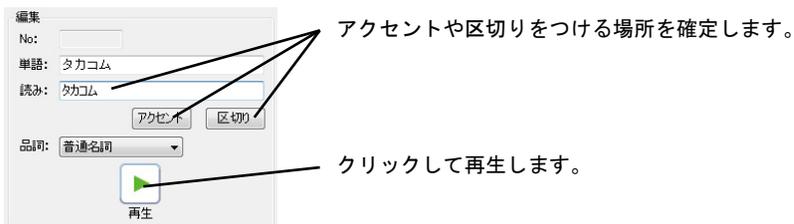
< 辞書登録 >

よく使う単語や、あまり一般的ではない言葉を辞書登録することができます。あらかじめアクセントをつけて調整を行い、辞書登録しておくことで、メッセージ編集が便利になります。



クリックします。

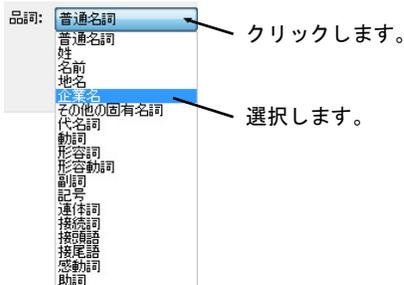
1. 単語と読みを入力して、[再生]ボタンで音声を聞きながら、アクセントや区切りの位置を確認します。



アクセントや区切りをつける場所を確定します。

クリックして再生します。

2. 品詞の[▼]ボタンをクリックして表示される一覧から、単語の品詞を選択します。



選択します。

3. [登録]ボタンをクリックします。



- ※ アクセントや区切りの位置を調節した単語を辞書登録するときは、必ず[再生]ボタンで再生して調節した内容を確認してから辞書登録をしてください。調節内容によっては、辞書が上手く登録できないことがあります。
- ※ 辞書登録した単語は登録後に割り付けたメッセージから反映されます。同じ単語でも辞書登録前に割り付けたメッセージには反映されませんので、ご注意ください。
- ※ 文章の前後のテキストによって、意図した発音にならない場合がありますので、ご注意ください。

8-2-2 録音再生

① 「録音再生」タブをクリックします。

② 編集対象のチャンネルを選択します。

③ メッセージを録音します。

[録音デバイス設定]ボタン
※ 録音デバイスを変更する場合は、このボタンをクリックして、デバイスを選択してください。音源の音量も変更できます。

クリックすると、メッセージ編集画面に戻ります。

1. 「録音再生」タブをクリックします。
2. 編集対象のチャンネルを選択した後で、メッセージ名入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

ch	メッセージ名	時間	音声合成
1	早朝用	00:21	○
2	昼休み	00:08	○
3	業務終了	00:10	○

クリックしてメッセージ名を入力します。

3. メッセージを録音します。
 - 1) マイクなどから音源を入力して、[モニター]ボタンをクリックします。録音レベルが適正範囲となるように、音源のボリュームを調節します。

クリックします。

適正範囲

- 2) [停止]ボタンをクリックした後で、再度音源を入力して、[録音]ボタンをクリックします。

クリックします。

- 3) 録音されたメッセージを確認する場合は、[再生]ボタンをクリックします。

クリックします。

8-2-3 音声取込

本ソフトで取込可能な音声ファイルのファイル形式は以下になります。

No.	規格名	仕様
1	リニア PCM	44.1kHz/16bit ステレオ、モノラル
2	μ-law	8kHz/8bit モノラル

① 「音声取込」タブをクリックします。

② 編集対象のチャンネルを選択します。

③ 音声ファイルを取り込みます。

クリックすると、メッセージ編集画面に戻ります。

1. 「音声取込」タブをクリックします。
2. 編集対象のチャンネルを選択した後で、メッセージ名入力欄をクリックしてメッセージ名を入力します。

クリックしてメッセージ名を入力します。

3. メッセージを録音します。
 - 1) [参照]ボタンをクリックします。

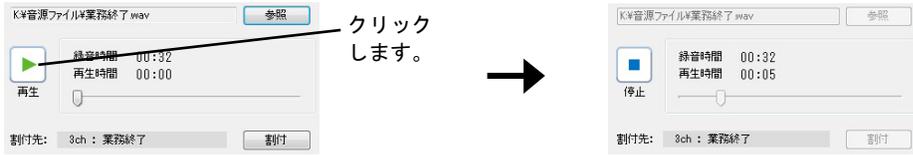
クリックします。

- 2) 音声ファイル選択画面で取込対象の音声ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

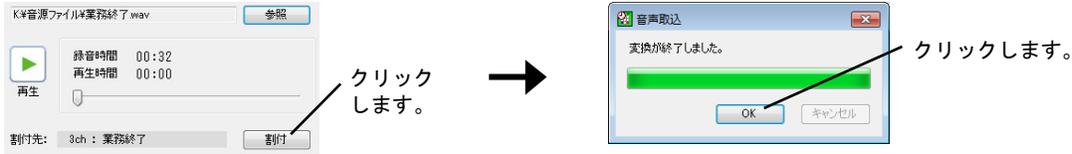
ファイルを選択します。

クリックします。

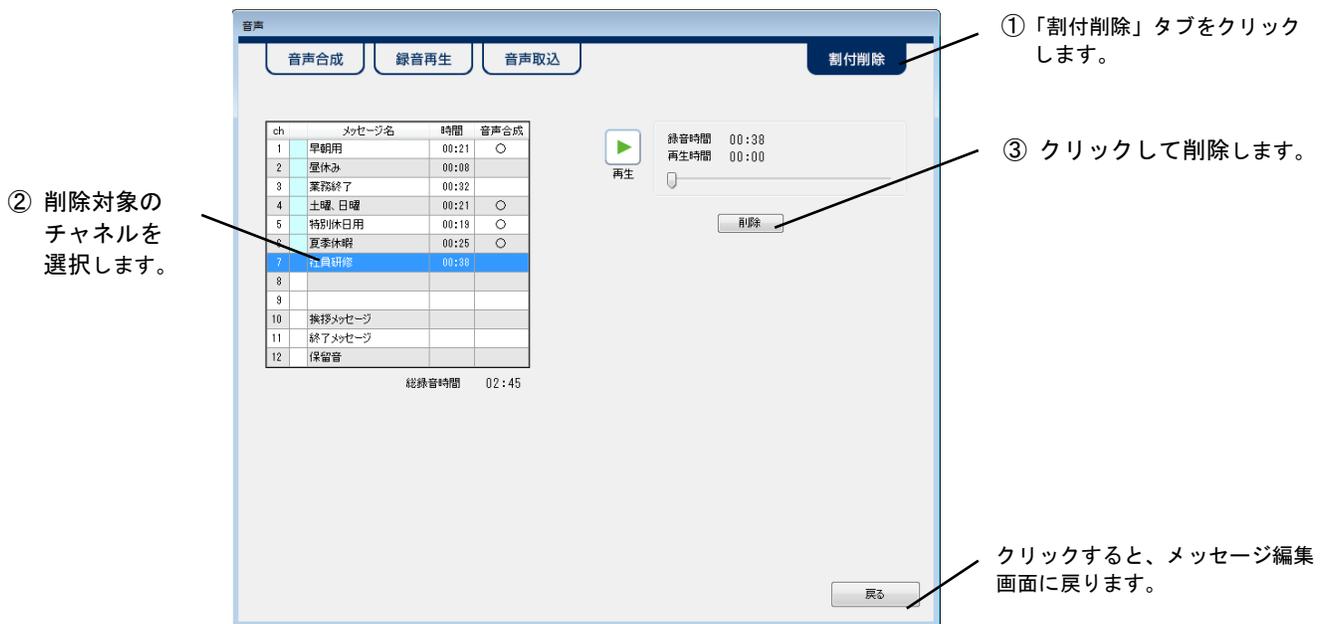
3) [再生]ボタンをクリックして音声を確認します。



4) [割付]ボタンをクリックして割付後、確認画面で[OK]ボタンをクリックします。

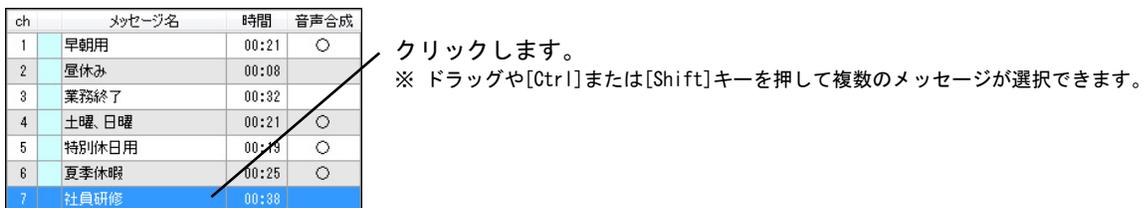


8-2-4 割付削除

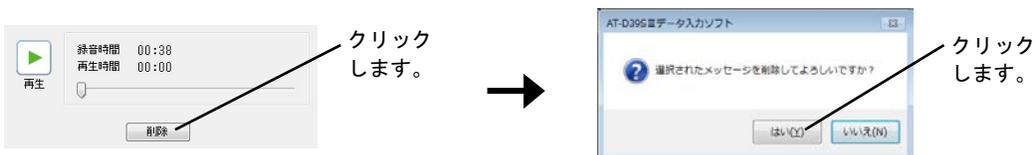


1. 「割付削除」タブをクリックします。

2. 削除対象のチャンネルを選択します。



3. [削除]ボタンをクリックして表示される確認画面で、[はい]ボタンをクリックします。



8-3 メッセージを書き込む

制御用パソコンのハードディスクや外部メモリに保存されているメッセージを、メッセージ用カードに書き込みます。このとき、音声合成により作成されたメッセージは音声だけが書き込まれて、文章は書き込みません。（※）

外部で録音したメッセージを使用してメッセージ用カードをコピー作成するときなどに行います。

（※）音声合成により作成されたメッセージを再編集したい場合は、前回書き込みをしたフォルダを参照してください。

8-3-1 メッセージの一括書込

① 書き込みするメッセージが保存されているフォルダを開きます。

② メッセージ名を上書きする場合は、クリックしてチェックを付けます。

③ [カード← PC] ボタンをクリックします。

1. [参照]ボタンをクリックしてメッセージが保存されているフォルダを選択します。

クリックします。

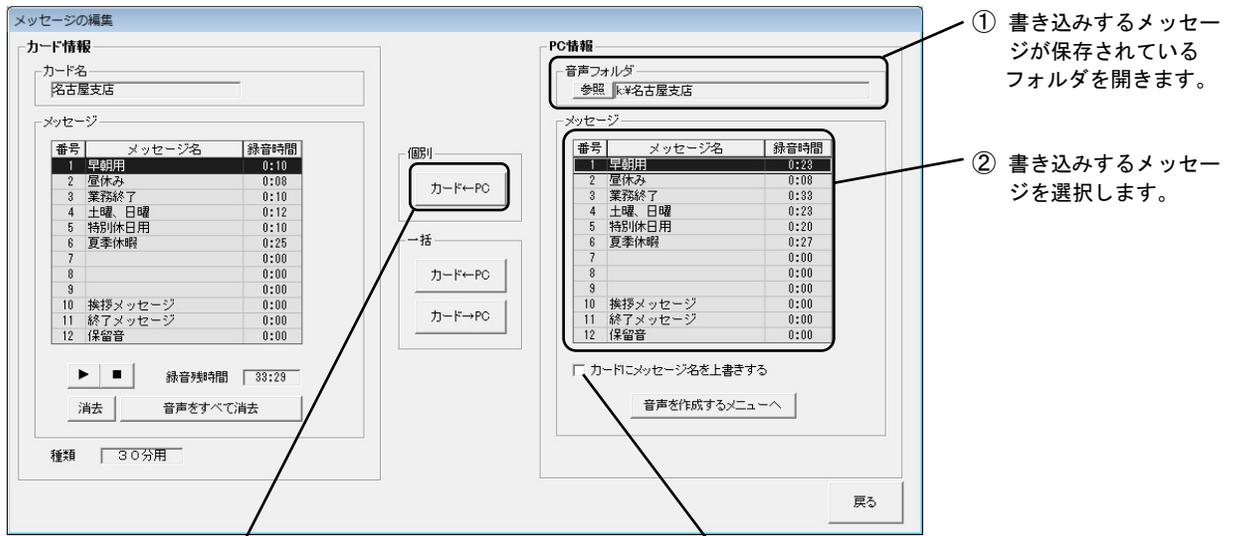
フォルダをダブルクリックして選択します。

クリックします。

2. メッセージ名を上書きする場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。
3. [カード← PC] ボタンをクリックして出力される確認画面で、[はい]ボタンをクリックします。

クリックします。

8-3-2 メッセージの個別書込



④ [カード← PC] ボタンをクリック
します。

③ メッセージ名を上書きする場合は、クリックして
チェックを付けます。

1. [参照]ボタンをクリックしてメッセージが保存されているフォルダを選択します。



2. メッセージをクリックして書込対象のメッセージを選択します。

- ・番号 : 本装置で流れるメッセージ番号です。
- ・メッセージ名 : [参照]ボタンで指定された音声フォルダに格納されているメッセージのメッセージ名です。
- ・録音時間 : メッセージの録音時間です。「0:00」で表示されたメッセージは、録音されていません。

3. メッセージ名を上書きする場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

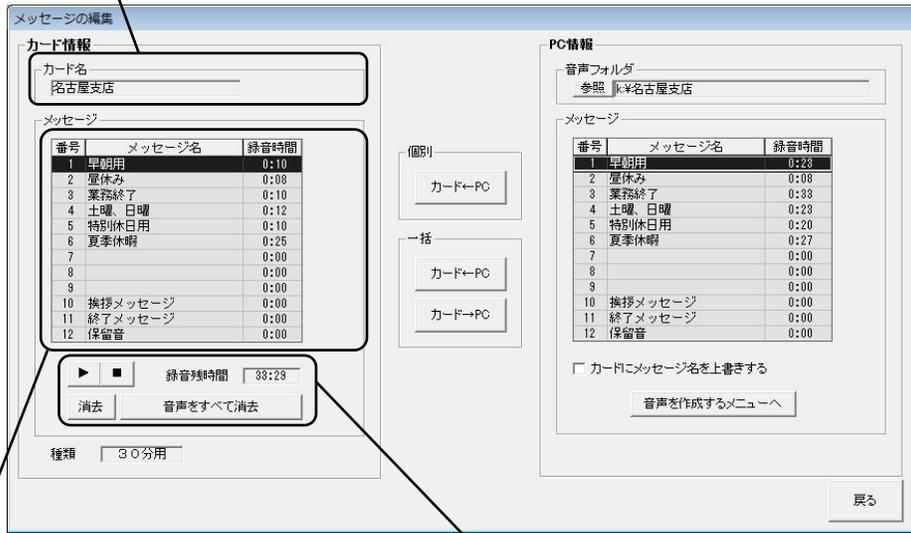
4. [カード← PC] ボタンをクリックして出力される確認画面で、[はい]ボタンをクリックします。



8-4 メッセージを確認する

メッセージ用カードに書き込まれたメッセージの内容を確認します。

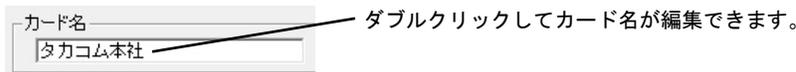
- ① カードライトアダプタ (CWA-200) に挿入されたカード名が表示されます。



- ② 確認するメッセージを選択します。

- ③ メッセージを再生して内容を確認します。また不要なメッセージが消去できます。

1. 入力欄をダブルクリックして、カード名が編集できます。



2. メッセージをクリックして書込対象のメッセージを選択します。

3. [再生] ボタンをクリックしてメッセージを確認します。

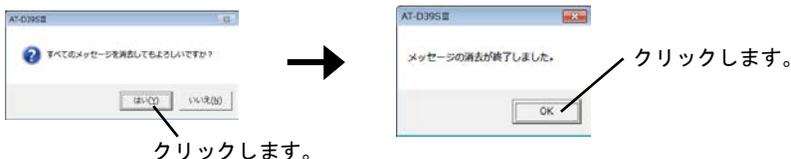
クリックするとメッセージが再生されます。



- [消去] ボタンをクリックすると、選択したメッセージが消去されて消去終了画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

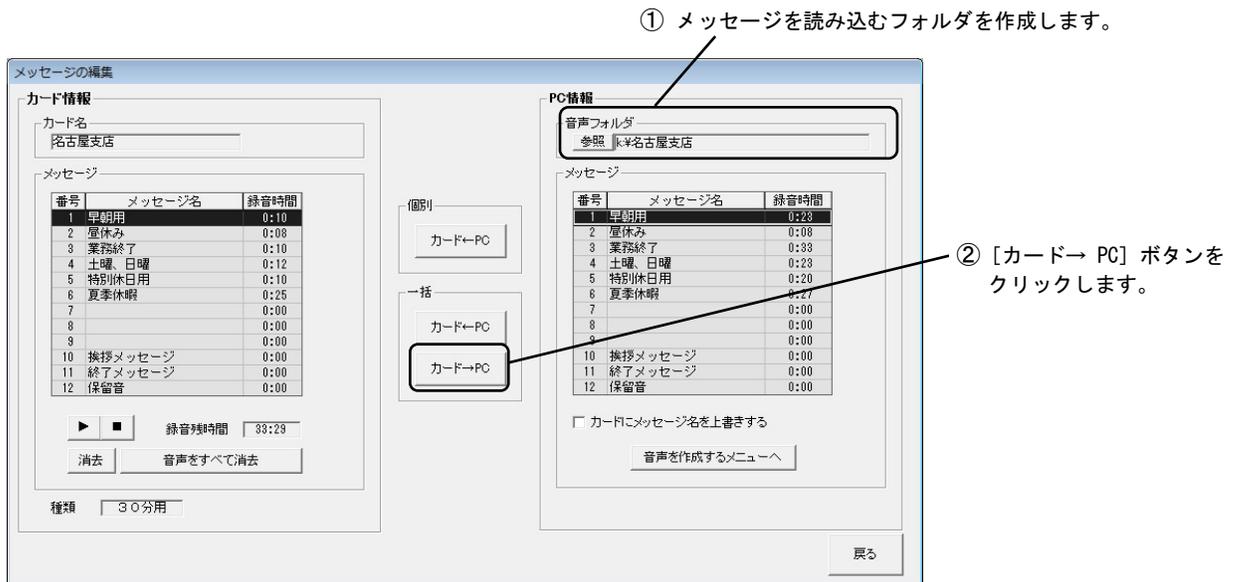


- [音声をすべて消去] ボタンをクリックすると、消去確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、カードに書き込まれた全てのメッセージが消去されて、消去終了画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

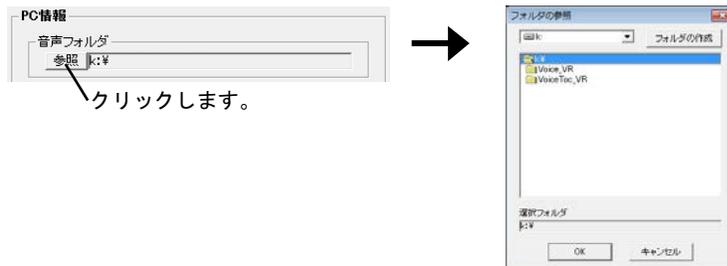


8-5 メッセージを読み込む

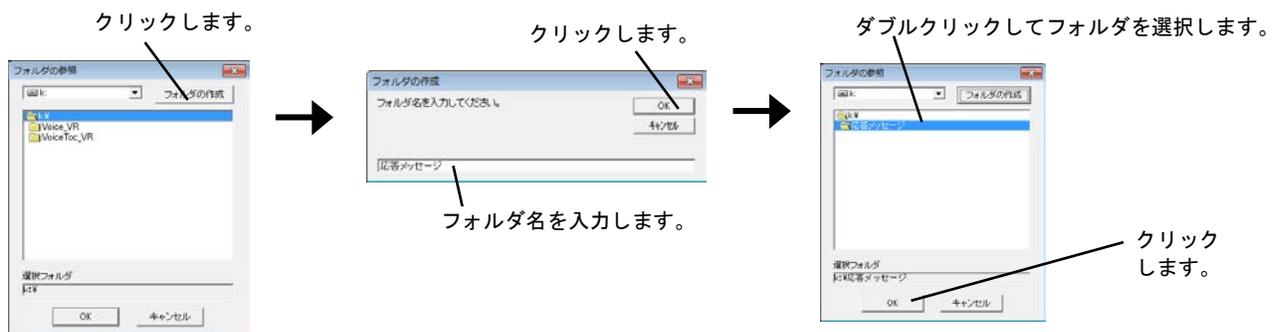
メッセージ用カードに保存されているメッセージを読み込み、制御用パソコンのハードディスクや外部メモリに書き込みます。メッセージをバックアップしたり、別のメッセージ用カードにバックアップしたメッセージを書き込んで、メッセージ用カードをコピー作成するときなどに行います。



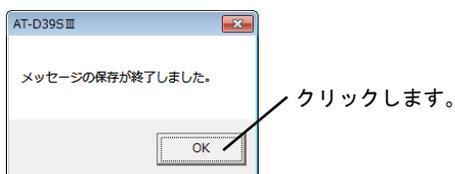
1. メッセージを読み込むフォルダを作成します。
 - 1) [参照]ボタンをクリックして、フォルダの参照画面を表示します。



- 2) [フォルダの作成]ボタンをクリックして、メッセージを読み込むフォルダを選択します。



2. [カード→PC] ボタンをクリックします。
 - 1) 読込終了後に出力される確認画面で、[OK]ボタンをクリックします。



9 カードのコピーと初期化

9-1 コピーと初期化

フラッシュメモリーカードをコピーしたり、初期化します。

こんなときに初期化をします。

一度も使っていないカードをご利用になるとき。

(一度でも本装置に入れたカードは、初期化する必要はありません。本装置が自動的に初期化をします。)

内容をすべて消してしまいたいとき。

>>> [移動](#) >>> [9-1-1 コピー](#)

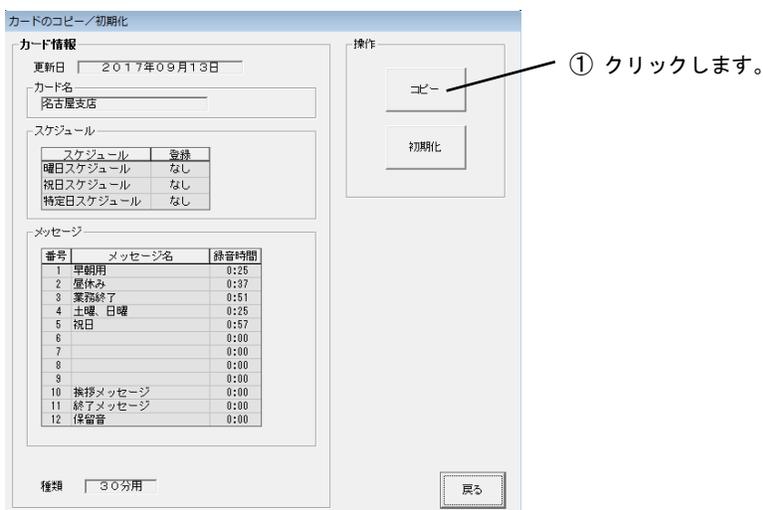
>>> [移動](#) >>> [9-1-2 初期化](#)

9-1-1 コピー

フラッシュメモリーカードの内容を、別のフラッシュメモリーカードにコピーします。

メニュー画面の[カードのコピー／初期化]ボタンをクリックします。「カードのコピー／初期化」画面が開きます。

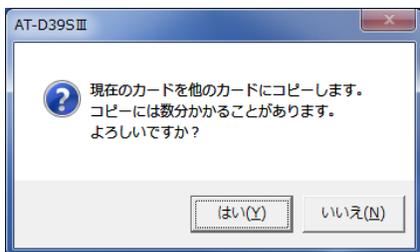
フラッシュメモリーカードを挿入してください。



※ 現在挿入されているカードの情報を表示します。

表示されている「録音時間」はおおよその時間です。本装置本体の表示とは1秒程度相違が出ることがあります。

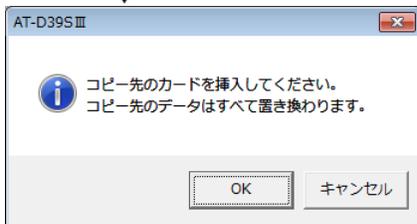
1. [コピー]ボタンをクリックします。



2. カードのコピーを確認する画面が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



データを読み込んでいます。

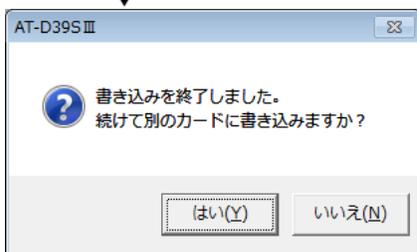


読み込みが完了しました。

3. コピー先（書き込む）カードを入れて、[OK]ボタンをクリックします。



データを書き込んでいます。



書き込みが完了しました。

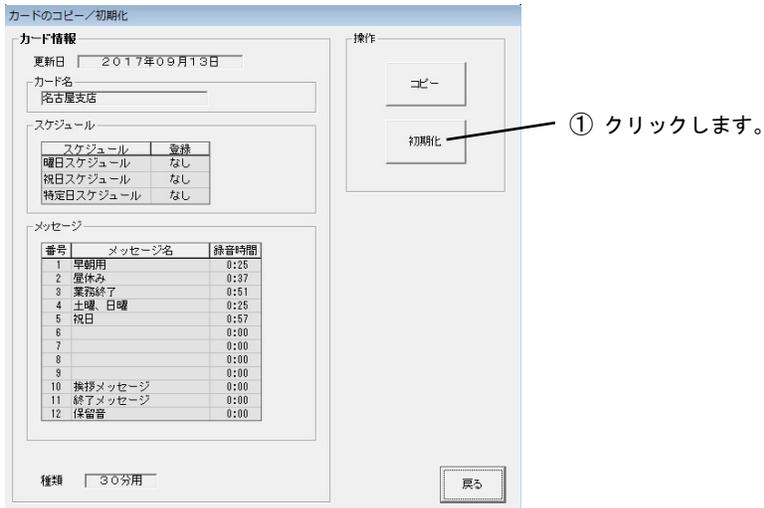
4. 書き込みの完了を知らせ、別のカードに書き込むかどうかを選択する画面が開きます。[はい]ボタンをクリックすると、同じ内容を別のカードに書き込むことができます。[いいえ]ボタンをクリックするとコピー作業は終了します。

書き込み後の「書き込みが終了しました」のメッセージ中にカードを抜き差しすると、「カード名」欄にカードなしと表示されることがあります。このときは、一度カードを抜き、再度差し込んでください。

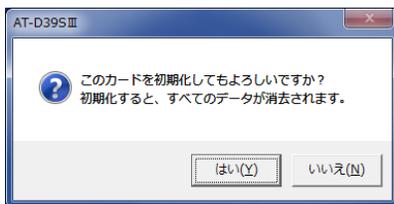
9-1-2 初期化

フラッシュメモリーカードを初期化します。カード上のすべての内容が消去されます。

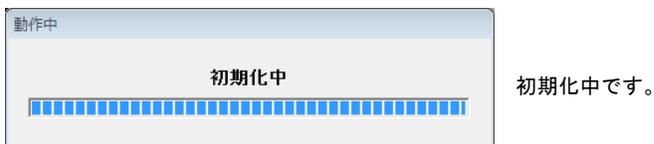
メニュー画面の[カードのコピー／初期化]ボタンをクリックします。



1. [初期化]ボタンをクリックします。



2. 初期化を確認する画面が開きます。[はい]ボタンをクリックすると初期化が始まります。



3. [OK]ボタンをクリックすると、初期化が完了します。

初期化後の「カードを初期化しました」のメッセージ中にカードを抜き差しすると、「カード名」欄にカードなしと表示されることがあります。このときは、一度カードを抜き、再度差し込んでください。

10 データの印刷

10-1 印刷

各種スケジュールの印刷ができます

>>> 移動 >>> [10-1-1 スケジュールの印刷](#)

使用しているメッセージの一覧を印刷します

>>> 移動 >>> [10-1-2 メッセージリストの印刷](#)

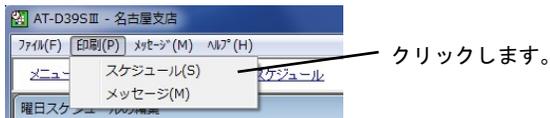
カード情報を印刷します

>>> 移動 >>> [10-1-3 カード情報の印刷](#)

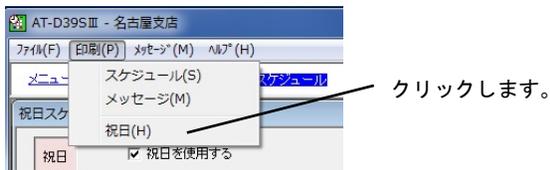
10-1-1 スケジュールの印刷

曜日スケジュール、祝日スケジュール、特定日スケジュールを作成・編集集中に、メニューバーの[印刷]→[スケジュール]の順にクリックします。

作成中のスケジュールをプリンターに印字します。



祝日スケジュールの作成中には、メニューバーの[印刷]→[祝日]の順にクリックすると、祝日の一覧が印字できます。

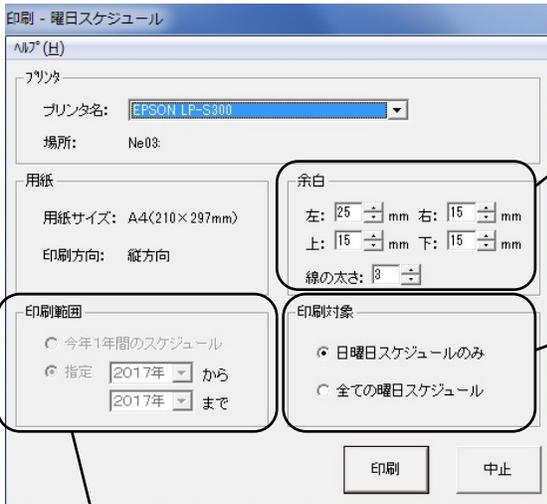


特定日スケジュールの登録画面で、メニューバーの[印刷]→[年間スケジュール]の順にクリックすると、年間スケジュールを印字できます。



特定日スケジュールの登録画面で、メニューバーの[印刷]→[特定日スケジュール]の順にクリックすると、特定日スケジュール登録一覧を印字できます。

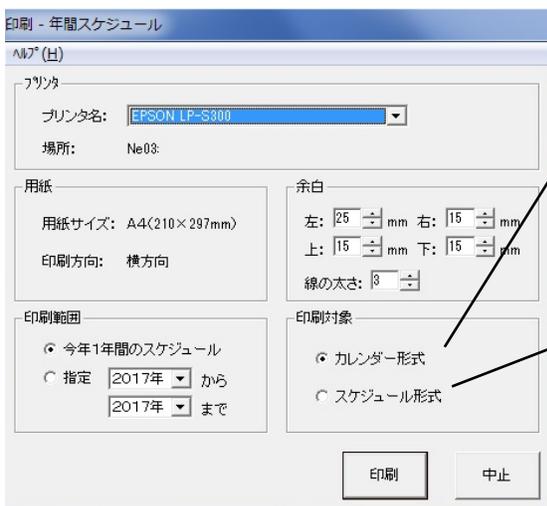




ページ内に収まらないときは、「余白」を調節してください。

曜日スケジュールを印刷するときは、「一つの曜日だけ/すべての曜日」の選択ができます。
特定日スケジュールを印刷するときは、「一つの特定日/すべての特定日」の選択ができます。

特定日スケジュールを印刷するときは、「1年間だけ/開始年と終了年を指定した複数の年」の選択ができます。



【カレンダー形式】

年間スケジュール一覧

2017年 1月							2017年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	土	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
D	D	D	D	停止	停止	停止	5	6	7	8	9	10	
8	9	10	11	12	13	14	11	12	13	14	15	16	
停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	18	19	20	21	22	23	
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31	
停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	
29	30	31											
停止	停止	停止					停止	停止	停止	停止	停止	停止	

【スケジュール形式】

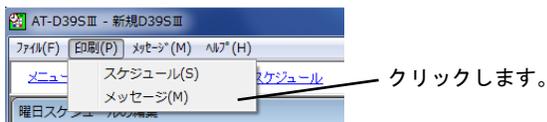
年間スケジュール一覧

2017年 1月				2017年 2月			
日	曜日	備考	スケジュール	日	曜日	備考	スケジュール
1	日		D	1	水		停止
2	月		D	2	木		停止
3	火		D	3	金		停止
4	水		D	4	土		停止
5	木		停止	5	日		停止
6	金		停止	6	月		停止
7	土		停止	7	火		停止
8	日		停止	8	水		停止
9	月	成人の日	停止	9	木		停止
10	火		停止	10	金		停止
11	水		停止	11	土	建国記念の日	停止
12	木		停止	12	日		停止
13	金		停止	13	月		停止
14	土		停止	14	火		停止
15	日		停止	15	水		停止

年間スケジュールを印刷するときは、印刷の形式を選択することができます。

10-1-2 メッセージリストの印刷

曜日スケジュール、祝日スケジュールを作成中に、メニューバーの[印刷]→[メッセージ]の順にクリックすると、使用するメッセージの一覧を印字することができます。



10-1-3 カード情報の印刷

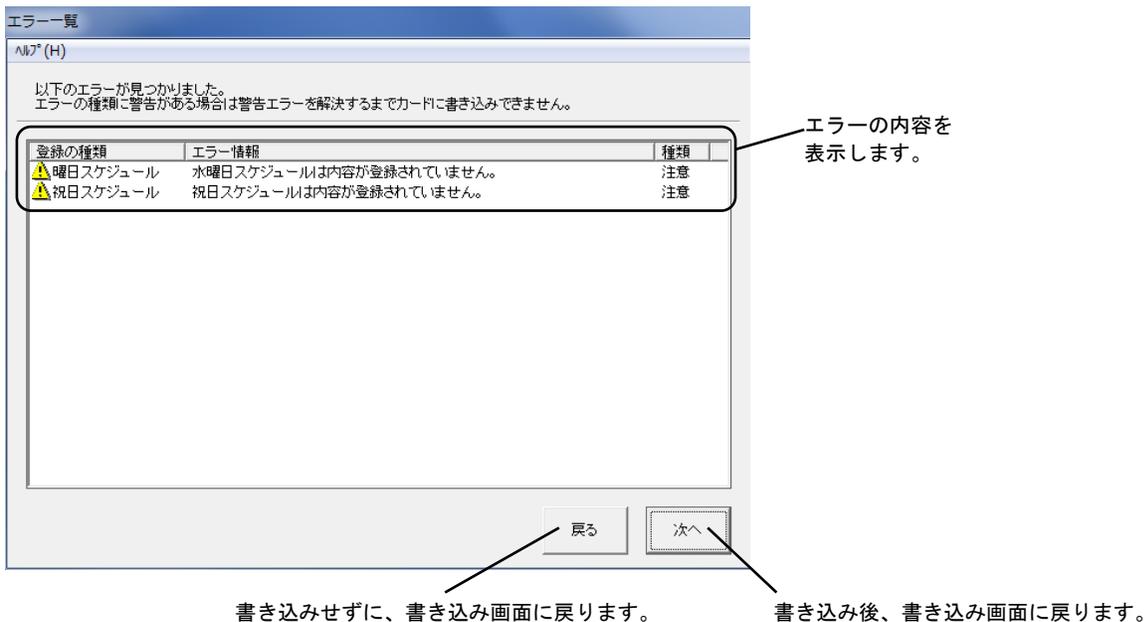
「カードのコピー/初期化」の画面で、メニューバーの[印刷]→[印刷]の順にクリックすると、カードに書き込まれている内容(スケジュールの一覧、メッセージの名前と録音時間)を印字します。



11 エラー

11-1 エラー処理

作成したスケジュールをフラッシュメモリーカードに書き込むときに、エラーがあることを表示します。



エラーには、2種類あります。

注意-----登録内容が異常である可能性があります、フラッシュメモリーカードに書き込むことができます。

警告-----登録内容が異常です。フラッシュメモリーカードに書き込むことはできません。

＜ エラーの内容 ＞

登録の種類	エラー情報	種類	参考
曜日スケジュール	XX 曜日スケジュールは内容が登録されていません。	注意	XX 曜日のスケジュールが未作成です。 2-2 曜日スケジュールを作る
	曜日スケジュールの登録が1つもありません。	注意	曜日スケジュールが、すべて未作成のままです。 2-2 曜日スケジュールを作る
祝日スケジュール	祝日スケジュールは内容が登録されていません	注意	祝日スケジュールを使う設定になっていますが、その内容が未作成です。 2-3 祝日スケジュールを作る
	祝日の使用が設定されていません。	注意	祝日スケジュールの内容は作成されていますが、祝日スケジュールは使わないことになっています。 2-3 祝日スケジュールを作る
特定日スケジュール	特定日スケジュール XX は内容が登録されていません。	警告	特定日スケジュールの XX (たとえば「B」) は使う登録がされていますが、内容が未作成です。 2-4 特定日スケジュールを作る
	特定日スケジュールの登録が1つもありません。	注意	特定日スケジュールの登録が全くありません。 2-4 特定日スケジュールを作る

12 本ソフトの終了

12-1 終了方法

メニュー画面の[終了]ボタンをクリックします。



クリックすると、本ソフトを終了します。

13 用件録音(拡張機能)

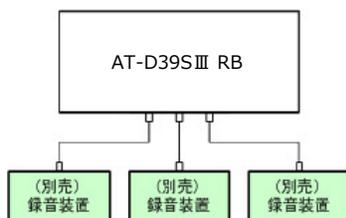
13-1 用件録音の概要

姉妹機の AT-D39SIII RB を使用すると、録音装置を接続することができます。
AT-D39SIII RB でメッセージを流したあと、別売の録音装置で先方の用件を録音します。

< 必要なオプション機器 >

- 録音装置（1回線に1台必要）

< 概要図 >



次の2つの準備（設定）が必要です。

1. 用件録音機能を使う設定に切り替える。

>>> **移動** >>> [13-2 用件録音機能を使う](#)

2. 用件録音に使用するメッセージは、「録音」欄にチェックを付ける。

>>> **移動** >>> [13-3 用件録音を使うメッセージの指定](#)

13-2 用件録音機能を使う

先方の用件を録音する／しないを切り替えます。

1. 「新規作成」、「ファイルの編集」または「カードの編集」をしているときに、メニューバーの「メッセージ」－「応答録音も使う」をクリックします。



2. AT-D39SⅢ RB（姉妹機）および録音装置（別売品）を必要とする確認画面で、[OK]ボタンをクリックします。

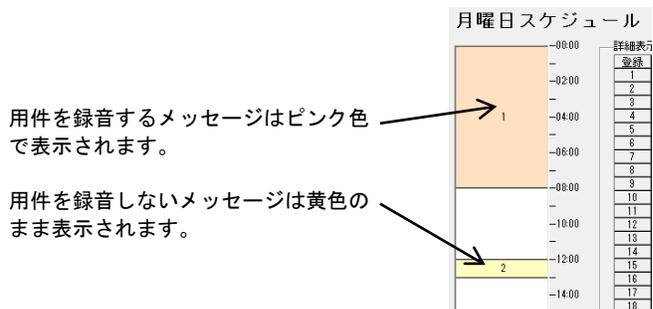
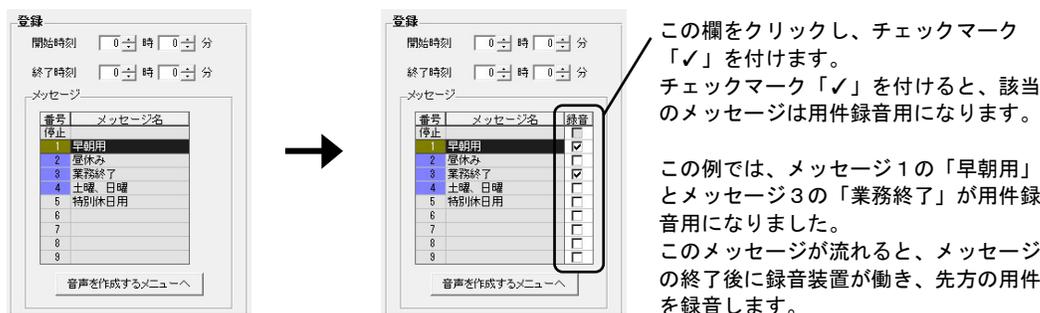


[応答録音も使う]にチェックマーク「✓」がついているときにクリックすると、チェックマーク「✓」がはずれて録音機能は使わない設定になります。

13-3 用件録音を使うメッセージの指定

「応答録音も使う」にチェックマーク「✓」を付けると、メッセージリストに「録音」欄が追加表示されます。

- チェックマークのついたメッセージで応答
本装置がメッセージを流した後、録音装置が起動し先方の用件を録音します。
- チェックマークのついていないメッセージで応答
本装置がメッセージを流すだけで、先方の用件は録音しません。



14 故障とお考えになる前に

14-1 ちょっとしたヒント

- **特定日スケジュールの登録画面の色が反転表示になってしまった**

システムの組み合わせにより、ごくたまに起こります。一度ほかの画面を表示し、戻ってください。表示は、正常に戻ります。

- **メッセージの録音時間が、本装置と本ソフトの画面表示と異なる**

本ソフトの表示はおおよその時間を表示します。1秒程度の相違がでることがあります。